

年 月 日

事業計画書

団体名： _____

枠内に収まらない場合は、適宜枠を拡げてください。

1．申請事業（以下、「事業」という。）の名称

2．事業概要（200字以内）

助成部門事業に選定された際、大阪市ホームページ等の選定事業紹介に掲載しますので、「3．事業目的」と「4．事業内容」を基に、簡潔に記入してください。

（文字数： 文字）

3．事業目的

なぜこの事業を実施することにしたのか、この事業を実施することにより、どのような地域課題や社会課題を解決したいと考えているのかということを、詳しく記入してください。

4 . 事業内容

(助成申請期間のみの内容ではなく、事業全体を通して記載してください。)

どこで (想定している活動地域)
だれのために (想定している対象者)
どのような体制で (団体の人員構成、団体が実施する他の事業との連携など)
だれとどのように (連携協働する団体や活用する社会資源、連携の方法など)
何をするのか (取り組み、活動内容)
最終的にめざす状態 (事業の他者への広がり、実施効果の広がり等)

5 . 事業の現状、成果と課題について

<p>当初計画・変更計画どおりに事業が実施できたかどうか・資金運用は計画どおりであったかどうか等（計画どおりに実施できていないなどの場合はその理由等も、記入してください。）</p>
<p>今年度の事業目標は達成できた（できそうである）かどうか（達成状況だけでなく、何が良くて達成できているのか、又は何が原因で達成できていないのか等の要因分析も併せて記入してください。）</p>
<p>他団体や地域との協働は進んだかどうか（進捗状況だけでなく、どのような団体とどのような協働・連携をしたのか成果を具体的に記入してください。また、協働が進まなかった場合は、何が原因なのか要因分析も併せて記入してください。）</p>

6 . 現状や成果・課題を踏まえて、事業開始当初の目的・目標に対する気づき・見直し等
課題解決に向けた取り組みとして現在の方向性・手法が最適であるかなど検証のうえ記入してください。

<p> </p>

7. 申請年度の活動内容

事業実施によりめざす状態
成果指標（めざす状態がどこまで達成できたかを検証するための数値目標等）
事業計画（事業の全体スケジュール、場所、規模、時期、回数、参加目標人数等具体的に）
事業の広報計画（周知計画など）
外部団体等との連携の可能性など

8. 申請年度の助成期間終了後の事業展開計画

事業展開（事業をどのように発展させていきたいと考えているのか等）
助成終了後自立した事業とするための工夫（活動財源の確保、支援者の拡大など）
事業実施により期待される広がり（事業の他者への広がり、実施効果の広がり等）

9. その他

(1) 当該事業開始等時期（参考）

（当助成事業の対象期間に関わらず、申請する事業を開始した時期又は事業の実施手法等を大幅に変更した時期を記載してください。）

年	月
---	---

(2) 助成を受けたい期間

助成を受けたい期間	2年間	3年間	のうち	2年目	3年目
-----------	-----	-----	-----	-----	-----

同一事業に対する助成は最長で連続する3年です。ただし、助成にかかる審査は1年ごとに行いますので、必ずしも受けたい期間助成が受けられることを約束するものではありません。

(3) 事業分野

募集要項8ページ「助成対象分野」に記載している20分野に当てはまる番号を記入してください。複数記入可。

事業分野：
